

# クリニックだからこそダイレクトな効果 美容外科でハツピーな笑顔を!!

今年8月、銀座歌舞伎座前にオープンしたばかりの「コスメディカルクリニック シンシア」。オフホワイトに統一されたクリニックは、フロントからカウンセリングルーム、待合室など、すべてが洗練された雰囲気です。大人の女性も落ち着いて過ごせる空間です。(ライター/さとうかり)



最新医療器を備えた手術室。  
本格的な美容整形手術も可能です。



院長 **又吉秀樹** 先生  
慶応義塾大学医学部卒業、慶応義塾大学病院心臓血管外科勤務、大手美容外科勤務ののち、同美容外科地方院院長就任。2008年「コスメディカルクリニック シンシア」開院。  
所属学会  
日本外科学会専門医・日本美容外科学会・日本美容外科医師会会員

コスメディカルとは、コスメティック（美容）とメディカル（医療）の合成語。またシンシアとは誠実の意。治療も費用もすべて誠実でありたいという思いを込めているそう。安心して満足のいく結果。[コスメディカルクリニック シンシア]は、そんな美容クリニックに求める最大のキーワードを実現しています。

## アンチエイジング治療で心と体の若返りを目指す COSMETIC CLINIC

外見のコンプレックスを  
解消して内面も輝く自分に



女性であれば、誰でも実年齢より若く美しい自分でありたいと願うもの。だからこそ今、「アンチエイジング」がビューティケアのキーワードになっているのかもしれない。小ジワやシミを発見し、アンチエイジング対応のスキンコスメを使ったり、エステサロンに通ったり、肌の老化を少しでも食い止めるために日夜お手入れはかかせないのです。

でも、もし本当に素肌年齢を若返らせたいと考えるなら、科学の力を使うのも一つの手。「プチ整形」という言葉は少し前にブームとなりましたが、クリニックだからこそ可能な施術でダイレクトに素肌へ働きかけることができ、効果もはっきり実感できるのです。

「美容整形は前向きな医療」と話すのは「コスメディカルクリニック シンシア」の院長・又吉秀樹先生。  
「人から見たらそんなことないと思う小さなシミも、本人にしてみれば大きなコンプレックス。こういうことはよくあります。でも、クリニックであれば医療用レーザーで、簡単に取ることができず、すると、皆さんうれしそうに素敵な笑顔になる。美容整形とは、こうした楽しく生きるために、ほんの少し自分に自信を与えてくれる技術なんです。」

人は自分に自信が持てると内面から輝いてくるもの。外見のコンプレックスを解消することで、美しさの輝きは内面からもキラキラと放たれるのです。

又吉秀樹先生が目指しているのはまさにそんな医療技術と話します。

「人により良く生きていくためには心のモチベーションが大きく関係します。美容整形なら、医療用レーザーやヒアルロン酸注射、フェイ斯拉フト手術、プラセンタ点滴などさまざまな治療法で素肌を若返らせることも、体に活力を与えることもできます。また、脂肪吸引やバスタアプ、痩身など様々な美を可能にします。コンプレックスを解消し、自分に自信が持てたら人はもっとよい人生を歩めるのではないかと。」

又吉院長先生は、現在は外科医時代に培ったオヘ技術や麻酔知識などを活かして、約15000件の施術を行なってきた豊富な経験の持ち主。また、患者さん自身に満足してもらう結果にするため、カウンセリングから治療、アフターケアまですべて又吉院長が担当。カウンセリングでは、どんな風にしたかったか、要望をきちんと聞きながらイメージ通りに仕上げます。さらに、イメージ通りにより近づけるため治療法を変更することもカウンセリング中にはあるのだとか。

「たとえフェイ斯拉フトの治療を希望してきた患者さんがいても、メスを入れることよりヒアルロン酸注射だけで充分効果がでる人もいますから、治療法や効果などを説明して、それに適した手術を提案します。」